

# 大阪銘板：100年以上にわたる持続可能なイノベーション

大阪銘板株式会社は、比類のない品質のプラスチック製品を持続可能な方法で製造するモデルの継続を目指している。



ヘルシーフットウォッシャー

1世紀以上前に設立されたプラスチック成形部品メーカーである大阪銘板株式会社は、持続可能な技術革新という点で業界のトップを走っている。

1950年代半ばから大手家電メーカーと長期的な協力関係を築き上げ、信頼を得てきただけでなく、品質に厳しいことで知られる自動車メーカーからも信頼される企業に成長した。そして山口徹社長は、顧客満足が会社



の成功の核心であることを確信している。

「顧客の要求に応える能力をコアコンピタンスとみなしていません」と山口氏は説明し、顧客を優先することが、マグネシウム代替プラスチックやガスアシスト射出成形技術の開発につながったことを強調する。同社がさまざまな分野でトップベンダーの地位を確立しているのは、その地位が同社のクリエイ



「グローバルな環境を考慮して市場のトレンドを把握し、革新を続ける」

大阪銘板株式会社 代表取締役社長 山口 徹

イティブな成果に結びついているからだ。

ガスアシスト射出成形技術を新たに応用することで大幅な軽量化に成功し、ヒケやへこみのある厚板の見栄えを改善したという例もある。

B2B製品に加え、環境に優しい素材を使用したSOEMなどのB2C製品の開発・販売も開始し、あらゆる選択肢を広げている。

「今後は、新しい市場に取り組み、



SOEM

事業の第3、第4の柱を加えたいと考えています。そのためには、会社



ガスアシスト射出成形 (内装)

の規模や歴史の長さを問わず、さまざまなお客様にアプローチし、協力していきたいと考えています」と山口氏は締めくくった。将来的に同社は、アジアと北米を重要なターゲットとして、海外でのプレゼンス強化に力を入れていくつもりだ。

More than plastics  
**DAIMEI**



<https://daimei.jp>